

## 「水産物衛生検査公社（ONISPA）ヌアディブ検査・分析所建設計画」 に関する書簡の交換

在モーリタニア日本国大使館

2月27日、モーリタニア経済・財務省において、佐藤正久外務副大臣とエル・モクータル・ジャイ経済・財務大臣（H. E. M. El Moctar DJAY, Minister of Economy and Finance, Islamic Republic of Mauritania）との間で、供与額14.25億円の「水産物衛生検査公社（ONISPA）ヌアディブ検査・分析所建設計画」に関する書簡の交換が行われました。

漁業分野は両国関係において最もつながりの深い分野の一つです。我が国は1977年以降、港湾や魚市場の建設、零細漁民への機材供与、漁民への研修の実施等、様々な支援を行って参りました。今日では漁業はモーリタニアの輸出額の約4割を占める主要産業になりました。

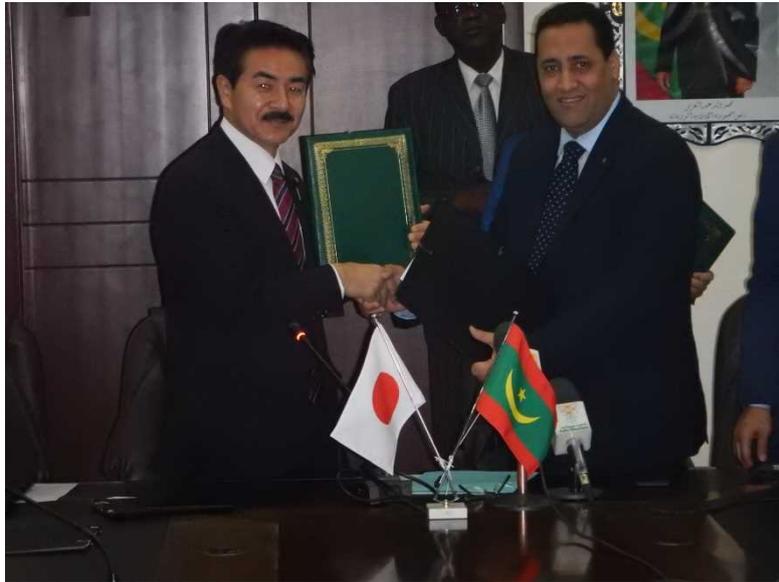
今回のプロジェクトは、モーリタニア最大の経済都市であるヌアディブにおける新たなONISPAの建設・機材整備を通じて、水産物の衛生検査機能を強化することを目的としています。

既に、首都ヌアクショットでも、我が国の支援によって同様の施設が建設され、国際規格に合う検査施設として、水産物の輸出促進に寄与しています。ヌアディブにおいても同様に、モーリタニアの漁業・水産業の一層の発展に貢献することが期待されています。

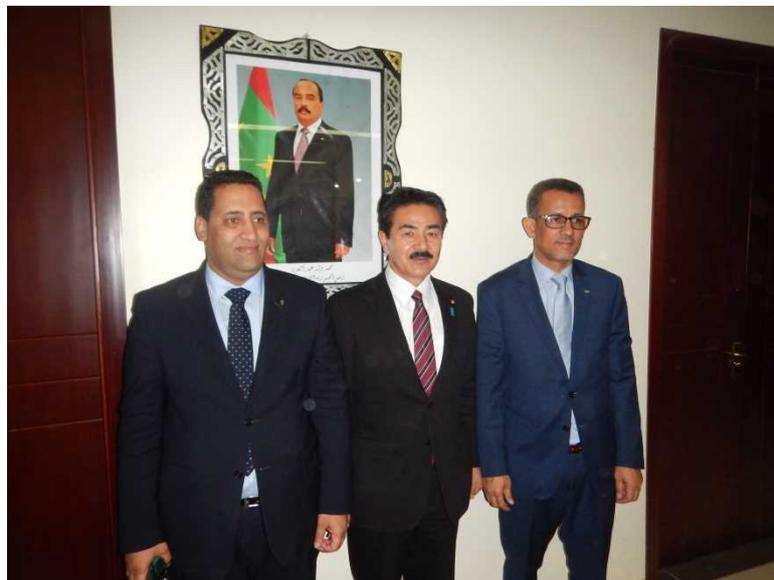
佐藤副大臣は、漁業分野を始め、様々な分野で日本とモーリタニアの両国関係が更に発展することを祈念する、と述べました。



書簡への署名の様子



書簡の交換



ジャイ経済・財務大臣（左）とアブドゥ・ダーイム漁業・海洋経済大臣（右）  
との記念撮影